

授業の視点

資質・能力を育てる協力指導の在り方

— 算数・外国語の単元デザインを通して —

5年 Lesson3 ある職業になるための時間割を作ろう

コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が高まった子どもの姿

※ ○印は、本単元と関連のある子どもの姿

<知識及び技能>

- ①日本語と外国語の違いに気付き、生きて働く知識として理解する子
- ②話したり聞いたりすることで、外国語の基本的な表現を身に付ける子
- ③読んだり書いたりすることで、外国語の基本的な表現に慣れ親しみ、活用しようとする子

<思考力、判断力、表現力等>

- ④既習の知識や経験と、新たな知識を活用してコミュニケーションを図る子

- ⑤自分の考えや気持ちなどを伝え合ってコミュニケーションを図る子

<学びに向かう力、人間性等>

- ⑥外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとする子
- ⑦相手の理解を確かめながら話したり、共感的に受け止める言葉を返しながら聞いたりしようとする子
- ⑧外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図り、進んで使おうとする子

本単元における目指す子どもの姿（上記の②⑤⑧を受けて）

- <知・技> 曜日や教科を表す語句と時間割を尋ねる表現を用いて、やりとりができる子
<思・判・表> ある職業になるための時間割を考え、その理由等も含めて表現できる子
<学> 他者に配慮しながら、ある職業になるための時間割をデザインしようとする子

本単元における手立て（単元デザイン）

本単元で児童が生き生きと対話することができるように、本単元の言語活動におけるコミュニケーション系統図を作成する。また、コミュニケーション系統図を活かして単元指導計画の作成に当たる。

【コミュニケーション系統図の作成】

- ・ どのように対話を発展させるか、コミュニケーション系統図を作成して明らかにする。

【資質・能力を高める対話活動】

- ・ 担任が児童の学習のモデルとなるようなデモンストレーションを仕組むことで、外国語を用いたやり取りの見通しをもたせ、自信をもって臨むことができるようにさせる。
- ・ 言語活動を2段階に分け、1段階終了時点でより良い活動になるような中間振り返りをする。

【見方・考え方を確かめる振り返る活動】

- ・ めあてに沿って児童の活動を振り返り、授業のポイントを価値付ける。
- ・ 振り返りの際に適切な視点を与え、自己の学びが自覚できるようにする。

第5学年外国語科学習指導案

児童 5年4組 28名

場所 すずかけホール

授業者

1 単元名 What do you have on Monday? 「ある職業になるための時間割を作ろう。」 (Junior Sunshine5 Lesson4)

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、曜日や教科の言い方を題材として取り扱っており、児童に身近な表現が多く使われる単元である。自分のなりたい職業に就くために、どんな時間割を作ったらよいかを考える学習であるので、キャリア教育とも繋げることができる。

また、友達の好きな教科をたずねて、クラスの人気な教科ランキングを作る活動は、友達のことをよく知る機会や、自分のことを友達に知ってもらえる機会になる。

単元の後半では、ある職業になるためにどのような学習をしたらよいかを考えたり時間割クイズ大会をしたりして、「自分だったらこうしたい」「この職業だからこれを学習したい」という意欲を児童にもたせながら英語の表現を身に付けていくことができる。

(2) 児童について

本学級の児童は、外国語に意欲的に取り組んでおり、英語を用いてのチャンツや歌などに抵抗なく学習することができる。また、男女関係なく楽しくやり取りを行うことができ、外国語の学習が「好きだ」と答える児童が多い。

一方、新しい語句や難しい表現やフレーズに対して抵抗があり、それらを用いて会話をしようとする意欲は少ない。また、英語を「自分の考えを伝えるツール」としてとらえていないため、英語を使つてのやり取りが少ない。

(3) 指導にあたって

本単元のゴールは「時間割クイズ大会をしよう」と設定する。しかし、そのゴールに至るまでには、教科と職業を結び付けて考える必要がある。

そのため、1・2時間目は教科や職業の言い方に慣れ親しませる活動を、3・4時間目にはそれらをたずねたり答えたりする活動を、そして、5・6時間目にはそれらを使ってコミュニケーションを行う活動を取り入れ、ゴールである7・8時間目に話すこと（発表）の活動を設定する。

これらの活動を行う上で、大きな支えとなる活動が「スモールトーク」である。今回は、そのスモールトークも併せて単元デザインの中に組み込み、活動を支えるフレーズ等に役立てていきたいと考える。

また、活動の前には英語でのデモンストレーションを行い、教師対児童、児童対児童へと、スモールステップを踏んでいくことで、話す活動へとつなげていきたい。

【資質・能力を高める対話活動】

- ・ 担任が児童の学習のモデルとなるようなデモンストレーションを仕組むことで、外国語を用いたやり取りの見通しをもたせ、自信をもって臨むことができるようにさせる。
- ・ 言語活動を2段階に分け、1段階終了時点でより良い活動になるような中間振り返りをする。

【見方・考え方を確かめる振り返る活動】

- ・ めあてに沿って児童の活動を振り返り、授業のポイントを価値付ける。
- ・ 振り返りの際に適切な視点を与え、自己の学びが自覚できるようにする。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

ある職業になるために必要な教科を考えたり伝えたりするために、教科や職業について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、教科に関する自分の考えを伝え合うことができる。

また、活字体の小文字を、形に気を付けて書くことができる。

(2) 単元の評価規準

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	活字体の小文字を、形に気を付けて書くことができる。		
話すこと 【やりとり】	<p>〈知識〉</p> <p>What do you have on Mondays? I have～.Why?, What subject do you like? I like ～.の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>曜日,教科,職業の言い方や時間割のたずね方,答え方について,考えや思いを伝え合う技能を身に付けている。</p>	ある職業になるために必要な時間割をたずねたり,答えたりしている。	時間割や職業について,相手に配慮しながらたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。
話すこと 【発表】	<p>〈技能〉</p> <p>What do you have on Mondays? I have～.Why?, What subject do you like? I like ～.の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>自分のなりたい職業に必要な教科や時間割について, I have～.などの表現を用いて,考えや思いを発表する技能を身に付けている。</p>	ある職業になるために必要な時間割を考え,オリジナルの時間割を作り,理由とともに発表している。	時間割や職業について,相手に配慮しながら時間割を伝えようとしている。

4 単元計画（総時数 8 時間）

時	目標	学習内容 (指導内容)	評価				
			知 技	思 判 表	態 度	評価基準	評価方法
1	教科の言い方や、何曜日にどんな教科があるのかを伝える表現に出会う。	<ul style="list-style-type: none"> • Small talk 単元の最後に行うクイズ大会の姿を見せ、学習の見通しをもつ。 • Let's sing 曜日の言い方に慣れるための歌を歌う。 • Let's play 1 ポインティングゲームをして、教科名の言い方に慣れる。 • Let's Watch and Think 世界の小学校の授業の様子を見て、日本の小学校と比べてみよう。 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	
2	教科チャンツや時間割に何があるかを聞いて英語表現に慣れ、友達に好きな教科をたずねたり答えたりし、時間割に興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> • Small talk T1: What subjects do you like? T1:I like ○○. T1: Why? T1:I like ~. • Let's Chant 教科名に慣れるためのチャンツをする。 • Let's Listen 2 友達の好きな教科をたずねて、クラスのランキングをつくる。 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	
3	教科に関係のある道具を見て教科と結び付けたり、教科当てクイズをして、教科についてたずねたり答えたりする表現ができる。	<ul style="list-style-type: none"> • Small talk T: What subjects do you like? C:I like ○○. T: Why? C:I like ~. • Let's chant • Let's play 3 教科に関係のある道具と教科を結びつける活動 • Let's play 4 教科名当てクイズをする。 • Let's jingle 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> • Writing 小文字を書く。 				
4	<p>時間割の内容についてたずねたり答えたりする。教科と職業の結びつきを考えながら、職業の表現を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Small talk C1: What subject do you have? C2:I have ○○. • Let's chant • Let's Play 5 インクで見えなくなった部分をたずねて、時間割を完成させる。 • Let's listen 3 それぞれの職業の人が好きな教科を結びつける。 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
5	<p>教科と職業の結びつきを考えながら、職業の表現への理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Let's chant • 一本橋ゲーム 職業の言い方で一本橋ゲームをする。 • Let's play 6 職業カードを見て、その職業に結びつきそうな教科を考えよう。 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6 本時	<p>ある職業になるための時間割について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Let's chant • Small talk • Let's play 7①② いくつかの職業からひとつ選び、その職業になるために必要な教科や時間割を考える。 なぜその職業に必要なのか理由を英語で伝える。 そのために必要なゲームをいくつか行う。 • Writing 小文字を書く。 	や	や	や	<p>話すこと「やりとり」の記録に残す評価</p> <p>◎What do you have on Mondays? I have ~.Why?, What subject do you like? I like ~.の表現について理解している。また、曜日、教科、職業の言い方や時間割のたずね方、答え方について、考えや思いを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>◎ある職業になるために必要な時間割をたずねたり、答えたりしている。</p> <p>◎時間割や職業について、相手に配慮しながらたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。[行動観察、振り返りシート]</p>
7	<p>ある職業になるための時間割について考え、他者に配慮しながら、伝え合おうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Let's chant • Let's listen4 英語を聞いて、どの職業かを考える。また、特別活動についても知る。 • Small talk C1: What do you have on Mondays? C2:I have Japanese, math and special class. 	や	や	や	<p>話すこと「やりとり」の記録に残す評価</p> <p>◎What do you have on Mondays? I have ~.Why? What subject do you like? I like ~.の表現について理解している。また、曜日、教科、職業の言い方や時間割のたずね方、答え方について、考えや思いを伝え合う技能を身に付けている。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's try ある職業になるために必要な時間割を特別活動も用いながら考える。 ・ Writing 小文字を書く。 				<p>◎ある職業になるために必要な時間割をたずねたり、答えたりしている。</p> <p>◎時間割や職業について、相手に配慮しながらたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。〔行動観察、振り返りシート〕</p>
8	ある職業になるための時間割をクイズ形式で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's chant ・ Small talk C1: What do you have on Mondays? C2: I have Japanese, math and special class. ・ Let's try 時間割クイズ大会をする。 ・ Writing 小文字を書く。 	発	発	発	<p>話すこと「やりとり」の記録に残す評価</p> <p>◎What do you have on Mondays? I have ~. Why? What subject do you like? I like ~. の表現について理解している。また、自分のなりたい職業に必要な教科や時間割について、I have ~. などの表現を用いて、考えや思いを発表する技能を身に付けている。</p> <p>◎ある職業になるために必要な時間割を考え、オリジナルの時間割を作り、理由とともに発表している。</p> <p>◎時間割や職業について、相手に配慮しながら時間割を伝えようとしている。</p> <p>◎活字体の小文字を、形に気を付けて書くことができる。</p> <p>〔行動観察・ワークシート〕</p>

5 本時の指導（6/8）

（1）目標

ある職業になるための教科や時間割について考え、必要な教科とその理由を伝え合うことができる。また、活字体の小文字を形に気をつけながら書くことができる。

（2）指導に当たって

【資質・能力を高めるための対話活動】

- ・新しい表現やその時間に使わせたい表現に慣れ親しませるためにスモールトークを位置づけることで、外国語を用いたやり取りの見通しをもたせ、たくさんの表現に慣れ親しみ活用することができるようにさせる。
- ・言語活動を2段階に分け、1段階終了時点で、理由をたずねたり会話が続きたりするように既習の英語を使ってコミュニケーションを図る姿を位置づけ、学級全体で共有しながら、より良い活動になるような中間振り返りをする。

【見方・考え方を確かめる振り返る活動】

- ・めあてに沿って児童の活動を振り返り、その時間で習ったことや分かったことを確認する際に、板書をもとに授業のポイントを価値付ける。
- ・振り返りの際に友達の考えで気づいた点や自分で工夫した点などの適切な振り返りの視点を与え、自己の学びが自覚できるようにする。

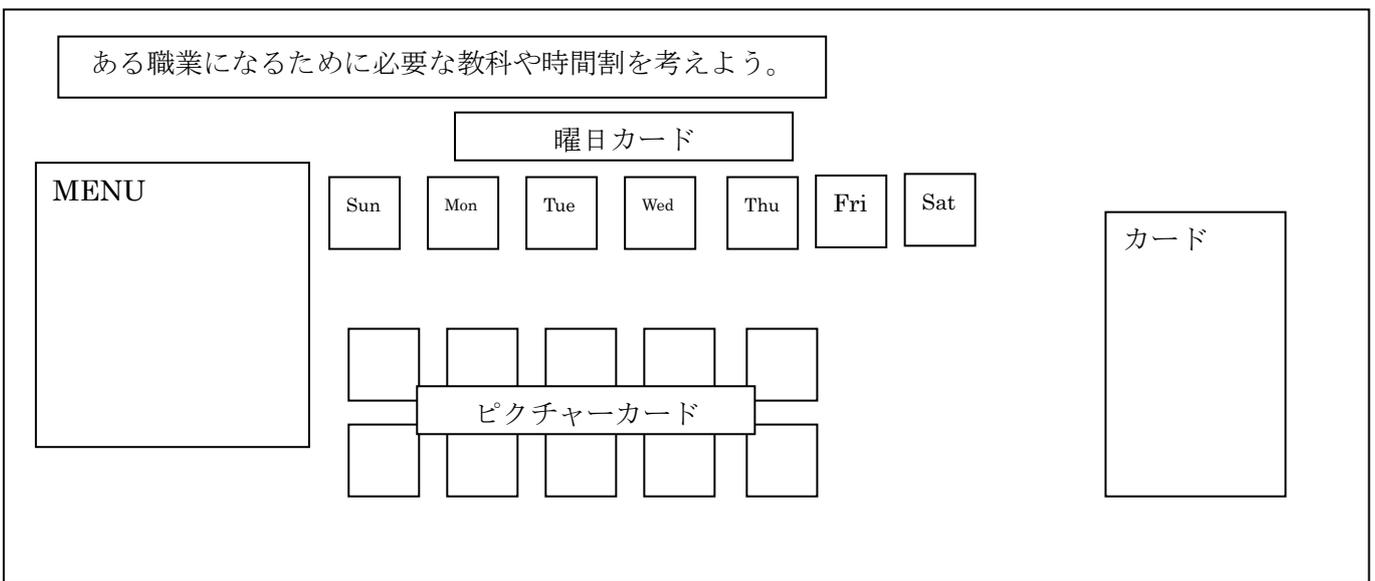
(3) 展開

段階	児童の活動	教師の働きかけ	・指導上の留意点 ◆研究の重点 評価 (方法)
導入 5分	1 挨拶をする。 Hello, how are you? 2 Let's Chants 3 めあての確認をする。	・明るく、挨拶する。 ・児童と共に教科の言い方を確認する。	・本時の学びに向かう楽しい雰囲気をつくる。
ある職業になるために必要な教科や時間割を考えよう。			
展開 3分 2分	4 Small talk A : (カードを掲示して) scientist. A: What subject do you have on Mondays? B: I have science and English. A: Why English? B: 英語で本を読むかもしれないから。 A : I see. O.K. 5 Let's play① ある職業になるために必要な教科や時間割を考える。	・small talk で活動の見通しを持たせる。 ・学級のなりたい職業ランキングとカードを見ながら、ある職業になるためにはどんな教科が必要か考えさせる。 ・小グループで活動をさせる。 ・職業カードを1枚引き、グループのメンバーで1つずつ教科を言わせる。そして、いくつ考えられたかを発表させる。	◆新しい表現やその時間に使わせたい表現に慣れ親しませるために、児童の学習のモデルとなるようなスモールトークを位置づけることで、外国語を用いたやり取りの見通しをもたせ、自信をもって臨むことができるようにさせる。 ◆言語活動を2段階に分け、1段階終了時点で、理由をたずねたり会話が続いたりするように既習の英語を使ってコミュニケーションを図る姿を価値づけ、学級全体で共有しながら、より良い活動になるような中間振り返りをする。
A : (1,2,3)It's the doctor. What do you have on Mondays? B : I have math. C&D: OK. C : I have science. B&D: OK. D : I have home economics. E: Why home economics? D: 一人暮らしするから。			

	<p>6 Let's play② ある職業になるために必要な教科や時間割を考える。</p> <p>7 Writing ・書いてみたい単語を選び、4線に書き写す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目の指導の後、机間指導をしながら、場合に応じてやりとりの仕方や言い方などを全体で確認する。 ・ある職業になるために、どんな教科が必要かペアになって伝え合わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : (manga artist のカードを持って) manga artist. B: What do you have on Mondays? A: I have arts and crafts and Japanese and English. B: Why English? B: 自分の描いたマンガを外国の人にも読んでもらいたいから。 A: I see. Thank you. B: Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板を使って、児童と共に単語を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆言語活動を2段階に分け、1段階終了時点で、理由をたずねたり会話が続いたりするように既習の英語を使ってコミュニケーションを図る姿を位置づけ、学級全体で共有しながら、より良い活動になるような中間振り返りをする。 ・丁寧に文字を書き写そうしている児童を賞賛する。
<p>終末 8分</p>	<p>8 振り返りをする。 振り返りシートに振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「工夫したこと」や「気づいたこと」などの視点を与え、「自分なりに考えられた」と振り返られるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・職業に合った教科や時間割を考えられました。 ・教科などの言い方を迷わずに言えるようになりました。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆めあてに沿って児童の活動を振り返り、その時間で習ったことや分かったことを確認する際に、板書をもとに授業のポイントを価値付ける。 ◆振り返りの際に友達の考えで気づいた点や自分で工夫した点などの適切な振り返りの視点を与え、自己の学びが自覚できるようにする。

	<p>9 挨拶をする。 That's all for today. See you.</p>	<p>・児童と共に挨拶をする。</p>	<p>評ある職業になるために必要な教科について考え、発表することができた。</p> <p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p>
--	--	---------------------	---

(4) 板書計画



単元目標

- ・ある職業になるための時間割クイズ大会をするために、曜日や教科、職業の言い方を理解することができる。

授業づくりの流れ

児童の学習の流れ

第8時 時間割クイズ大会	T vs C → C vs C
第7時 ある職業になるための時間割について考え、他者に配慮しながら、伝え合おうとする。	7時 8時 T: What do you have on Mondays?
第6時 ある職業になるための教科や時間割を考える活動 What do you have on Monday? Why English? manga artist. I have arts and crafts and Japanese and English. 自分の描いたマンガを外国の人にも読んでもらいたいから。	C: I have Japanese, math, music, and science. T: What subject do you like? C: I like Japanese. T: Why? C: 音読が好きだから。
第5時 教科や職業の言い方にも慣れる活動 Doctor, soccer player, police officer...	T vs C → C vs C 5時 6時 T: What do you have on Thursdays?
第4時 教科を尋ねる表現や職業の言い方に慣れる活動 What do you have on Mondays? I have Japanese, Math, Science, and Music.	C: I have Japanese, math, music, and science. T: What subject do you like? C: I like Japanese.
第3時 教科に関わる物の言い方にも慣れる活動 beaker, map, compass, triangle, crayon	T vs C → T vs C → C vs C 2時 3時 4時 T1: What subject do you like? C: I like P.E.
第2時 教科や曜日の言い方やたずねたり答えたりする言い方に慣れる活動 What subject do you like? I like~の言い方 Math, Japanese, science, P.E, . . . 等の教科名	T: Why? C: I like running.
第1時 単元計画を立てる Sunday, Monday . . . Saturday Math, Japanese, science, P.E, . . . 等の教科名	Small talk